

議員の定数・報酬について

たくさんのご意見・ご要望ありがとうございました



衡上地区での懇談会

住民に開かれた議会を目指し、議会や村政に対する貴重なご意見をいただき、次期改選に向けて「議員定数」「議員報酬」をテーマに「住民と議会との懇談会」を開催しました。

近隣の議会議員の報酬や活動実態の比較、議会活性化特別委員会での審議内容を報告し、それに対して村民の皆様からご意見をいただいております。

次ページ以降に主なご意見、分析等を掲載しております。

開催月日	班名	開催地区	住民参加者数		
			男	女	計
7月31日(月)	1班	衡上	12	2	14
	2班	駒場	13	0	13
8月1日(火)	1班	大森	5	2	7
	2班	大瓜上	8	1	9
8月2日(水)	1班	松原	3	0	3
	2班	奥田	2	0	2
8月3日(木)	1班	衡中	8	4	12
	2班	衡東	6	2	8
8月4日(金)	1班	衡中北	7	3	10
	2班	衡下	9	1	10
8月7日(月)	1班	大瓜下	8	0	8
	2班	衡中東	3	2	5
8月8日(火)	1班	ときわ台	6	0	6
	2班	蕨崎	3	1	4
合計			93	18	111

議員定数

削減・維持が拮抗

参加者の主なご意見	
定数削減	議会が2名削減でも運営できると判断するなら削減して報酬を上げればよい
定数削減	人口割での議員数は他の自治体より多いので削減は当然である
現状維持	住民の声を聴くには議員数は必要だ
現状維持	定数減は執行部への監視が弱くなる
現状維持	人口割で定数を考えないほうがよい

議員定数に関しての全111名の参加者からのご意見は大きく割れ、定数削減・現状維持が、ほぼ拮抗する形となりました。

議員定数を削減すべきとする方の多くは、人口割で言えば現行の定数14名は多いので、2名程度の削減が望ましいと述べられています。

定数を維持すべきと述べられた方からは、定数減によって住民の声が届かなくなることを懸念する声がありました。

その他に多くの参加者から、こういった案件は住民に意見を求めるのではなく、議会議員が自ら決めるべきとの意見をいただきました。

議員報酬

報酬増額の声過半数

参加者の主なご意見	
報酬増額	定数を削減し、財源を充当すればよい
報酬増額	このままでは立候補者がいなくなる
報酬増額	大幅に上げて若者が出るようにすべき
現状維持	議員報酬は生活給ではない。生活のために議員になるようでは困る
現状維持	他の自治体と比べるものとは思わない
現状維持	民間の給与と比べて低いと思わない

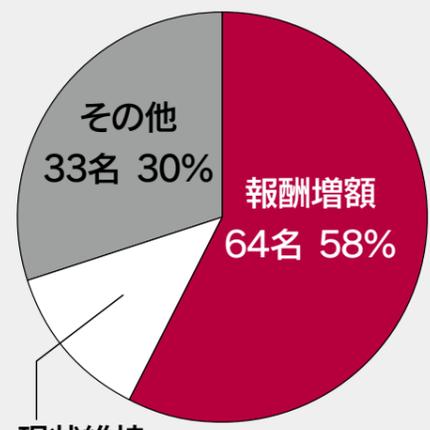
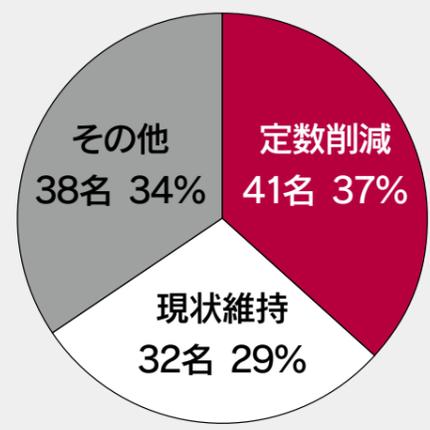
参加者のうち、約6割の方が報酬を増額してはとのご意見を示される結果になりました。

村の議員報酬が月額20万4千円であること、それが県下21町村で最も低いということを議会側から報告しました。

報酬を増額すべきという方からは、次世代の議員のなり手がなくなることを懸念する声が多くありました。

現状を維持すべきという方からは、政務活動費を導入すればよいのではという声がありました。

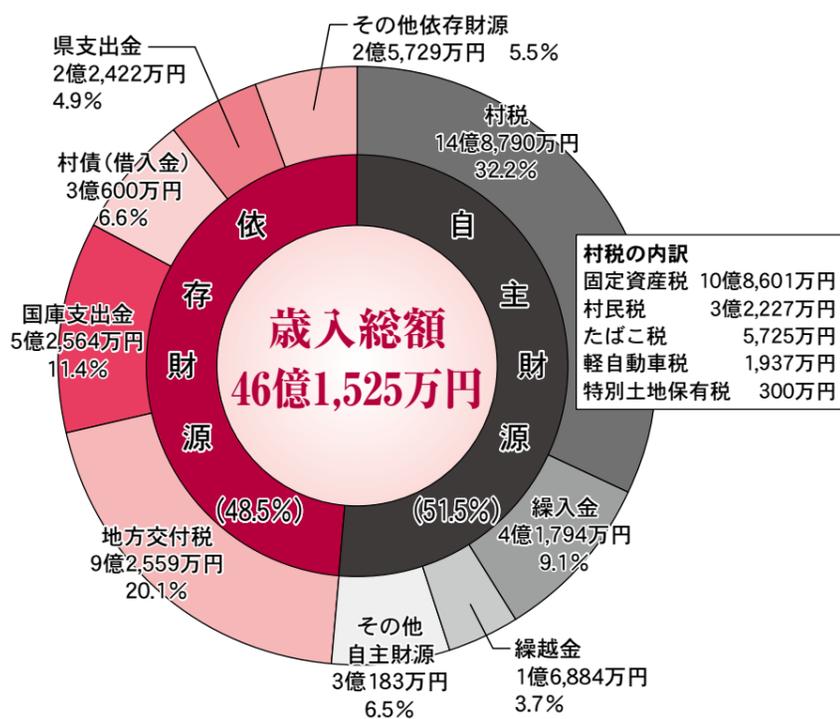
多くの地区で、増額・維持を問わず、議員の活動が見えてこない、報酬に見合った活動をしてほしいとの意見をいただきました。



平成28年度
決算認定
賛成9・反対3

村税などの伸び 順調 子育て支援を充実

一般会計歳出
42億3,786万円
(前年度比2.3%減)



歳入 (財源)

<自主財源>
地方税や手数料、寄付金など、村が自主的に調達できるお金、使いみちが自由に決められる。自主財源が多いほど、行政活動の自主性・安定性が高いとされる。平成28年度は自主財源比率が依存財源比率を上回った。

<依存財源>
国、県、借入金などに頼ったお金、使いみちには制限がある。

村税の内訳

固定資産税	10億8,601万円
村民税	3億2,227万円
たばこ税	5,725万円
軽自動車税	1,937万円
特別土地保有税	300万円



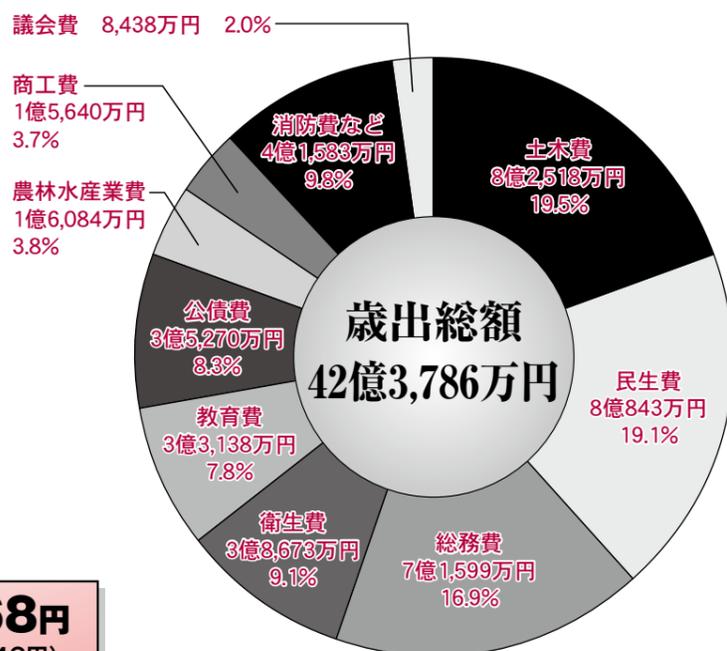
みんなで育てる大衛の子ども達

平成29年第3回定例会は、9月5日から14日までの10日間にわたり開かれました。村長提案案件は、教育委員の任命同意1件、条例改正2件、平成29年度補正予算7件、平成28年度各種会計決算認定8件の全18議案が提出され、全て原案のとおり可決されました。

そのほか健全化判断比率並びに資金不足比率の状況について1件報告されました。一般質問は9人の議員が登壇しました。16ページから24ページに掲載しております。

歳出 (使いみち)

- ◆ 主な実施事業 ◆
- 地域型保育施設委託料……1,811万円
 - 障害福祉サービス事業所等整備費補助金……2,500万円
 - 尾西中山線改良舗装事業…9,545万円
 - 万葉サンサンエネルギー発電普及促進助成……535万円



村民1人あたり **724,668円**
(前年度 743,946円)
H29.3.31 現在 5,848人

◎各種会計別決算◎

会計別		歳入決算額	歳出決算額
特別会計	国民健康保険事業	6億1,773万円	5億5,958万円
	下水道事業	3億1,231万円	3億933万円
	介護保険事業	5億3,801万円	5億1,648万円
	戸別合併処理浄化槽	3,405万円	3,270万円
	後期高齢者医療	5,002万円	4,907万円
	宅地造成事業	3億354万円	3億337万円
企業会計	水道		
	収益的収支(税抜)	2億4,190万円	2億2,921万円
	資本的収支(税込)	97万円	1,559万円

決算
質疑

決算をきびしく審査



石川敏委員長

平成28年度各種会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会(委員長 石川敏・副委員長 遠藤昌一)が6日間にわたり開かれました。

特別委員会では、各課長などに質疑を行い、慎重審議した結果、「認定すべき」と決定し、14日の本会議で議長に報告しました。

主な質疑

村の健康増進事業について

問 各地区にウォーキングコースを作るとの話があったが、実績は。

答 駒場地区がモデルケースとしてマップを作成・配布している。

保健活動推進委員や食生活改善推進委員などが、地区ごとのコースを検討している。

問 小中学生の肥満にはどう対応していくのか。

答 小学6年生男子の25%が肥満という状態なので、体育の授業で走る活動を取り入れ、万歩計の貸与や、食育などの働きかけを強化していく。

和太鼓教室のこれから

問 和太鼓教室の今後の活動はどうしていくのか。

答 29年度でプロによる指導教室は終了するので、その後はチーム員による自主活動になる予定。詳細は今後検討していく。

スクールバスの運行

問 降雪があったとき、スクールバスが来なかった日があったが。

答 積雪によりバスの時刻が遅れたことがあった。運行時間を守るよう指導していく。

運転業務の人数体制は。

答 バス2台を運転手2名、補助員1名で対応しているが、何らかのトラブルがあっても通常の運転業務に支障をきたさないよう、対応を考えていく。



血管年齢測定器

非常備消防について

問 現在消防OB団員が、49人である。今後増やすことは可能か。

答 OB団員の定数は60名以内と定められている。まだ10名程度の余裕はある。

問 消火作業用の防火服を増やせないか。

答 適当な助成事業があるかどうか調査検討する。

在宅介護支援事業

問 ひとり暮らし老人等寝具洗濯乾燥消毒サービスは、対象人数に比べて利用率が低いのではないか。

答 65歳以上のひとり暮らし世帯と高齢者のみの世帯49軒のうち、26名が利用している。本当に必要な人が利用できるよう、今年度中に内容等を検討していく。

ふるさと祭り・万葉まつりについて

問 従来2日間実施していたふるさと祭りを一日にしたことで、どのような影響や効果があったのか。

答 一日にしたことで、諸経費が縮減された。一日当たりの来場者数や、出店の売上げなどは増加した。



にぎわうふるさと祭り

問 ふるさと祭り・万葉まつりとも、業者選定は実行委員会が行うが、アンケートも取って参考にしてはどうか。

答 実行委員会でも多くの方が来てくれるコンセプトを検討し、それに沿った事業を実施していく。



防火服



AEDの設置

問 各地区集会所に設置されたAED設置事業の補助金の概要は。

答 東日本大震災復興基金から繰入れし「すばらしい大衡を創る協議会」に対し補助金を交付している。

問 AEDの設置は区長会からの要望なのか。

答 総務課内で検討した結果であり、区長会議で全区長に説明している。

一般会計委員会採決
賛成9 反対2
認定すべきと決定
 特別会計7会計も認定すべきと決定



老朽化による水漏れ

尾西中山線改良工事

問 尾西中山線改良工事において、地元からの指摘・要望・補償にどう対応してきたか。

答 舗装や防風林伐採後のついで整備については、付帯工事での対応を検討していく。立木の伐採補償については、補償金額の範囲で伐採してくれる業者を村でも探している。

問 伐採補償の問題に、今後どのように対応していくのか。

答 公的な算定基準の補償金額と実勢価格が合わなくなってきた。地権者の負担にならないように、村が買い取って村で伐採するといった方法も検討していく。

水道老朽化対策

問 一般家庭以外に、消火や水抜き、点検など、1年間でどの程度の排水があるのか。

答 28年度では消火活動に約420t、冬期間の凍結防止に約4500tを排水した。

問 老朽化による水漏れは発生しているのか。

答 配水管からの漏水が2件、住宅に引込む給水管の漏水が2件発生した。水道施設の現状を把握し、将来的な財政計画を含め、年次の更新を検討していく。

住宅太陽光設置助成

問 28年度の住宅太陽光設置助成件数は何件か。

答 21件の助成を行っており、うち9件が村内で製造されたソーラーパネルを使用していた。

環境美化推進

問 環境衛生費の備品購入費として、監視カメラを購入しているが、その詳細は。

答 不法投棄多発地帯への監視用に、保健所よりカメラを借用設置してきたが、各地区で多発する不法投棄に対応するため、28年度に2台の監視カメラを購入した。



不法投棄監視カメラ

大瓜南側線のり面

問 大瓜南側線のり面は、植生シートを張っているが、除草時に作業しづらい。のり面は吹きつけで対応できないか。

答 吹きつけ時に天候条件が悪く発芽しなかったため、のり面が流されてしまうケースがあった。しかし、指摘を踏まえ、29年度はのり面保護がしっかり出来るように留意した上で、吹きつけで発注している。

第64回大衡村民体育大会における入場門看板落下事故について

全員協議会
 平成29年9月5日



落下した横看板

あらまし

第64回大衡村民体育大会で発生した事故について、事故の内容、発生時の対応、事後の対応について、執行部から報告を受けました。

期日：平成29年9月3日(日) 午前8時35分ごろ
 場所：大衡中学校校庭

事故の内容

開会式前の入場行進において、門の下に座って待機していた小学一年生(8名)と子どもを探していた大人(1名)に、入場門に架けていた横看板が落下し、負傷したものの。

事故発生時の対応

事故発生時は職員が近くにおらず、すぐに事故に気付くことが出来なかった。

そのため、事故状況の確認が遅れ、また、体育大会の進行も止めなかったことで対応が遅れた。

さらに、救急車を呼ぶ判断を怠ったことで、治療の遅れを生じさせた。

事故後の対応

負傷者宅に戸別訪問し、状況を確認した。

今後はあらゆる事態を想定し、緊急時対応マニュアルを策定し、万全を期していく。

平成29年度
補正予算

一般会計ほか6会計を補正 小学校体育館 改修に7,740万円

追加の主なもの

◎歳入の補正

固定資産税……………5,000万円
地方交付税……………△1億1,953万円
特定施設防衛周辺整備調整交付金
……………1億4,374万円
民生費国庫補助金……………2,224万円

◎歳出の補正

大衡中学校敷地整備……………5,612万円
大鮎用排水路整備……………2,384万円
子ども・子育て支援事業……………2,582万円
塵芥収集事業……………123万円
農林業系汚染廃棄物処理……………357万円



汚染ほだ木

問 汚染牧草などはいづころから処理されるのか。
答 汚染牧草の試験焼却は12月から開始予定。焼却量は10tとなる見込み。ほだ木についてはチップ化し、今年度中には林地還元する予定である。

問 汚染牧草などはいづころから処理されるのか。
答 汚染牧草の試験焼却は12月から開始予定。焼却量は10tとなる見込み。ほだ木についてはチップ化し、今年度中には林地還元する予定である。

汚染牧草の処理

会計別	補正額	予算額	
一般会計	2億3,228万円	44億5,160万円	
特別会計	国民健康保険	1,115万円	6億2,115万円
	下水道	予算の入れ替え	2億7,630万円
	介護保険	2,708万円	5億5,358万円
	戸別合併処理浄化槽	予算の入れ替え	3,930万円
	後期高齢者医療	94万円	5,342万円
宅地造成事業	予算の入れ替え	5,400万円	

問 子どものための教育・保育給付費補助金の内容は。
答 保育対策総合支援事業費補助金2400万円は、村内の認可外保育所の認可化に向けた施設の改修費用の助成である。子どものための教育・保育給付費補助金182万円は、同じく認可外保育所の認可に向けた事務経費の補助金である。

問 子どものための教育・保育給付費補助金の内容は。
答 保育対策総合支援事業費補助金2400万円は、村内の認可外保育所の認可化に向けた施設の改修費用の助成である。子どものための教育・保育給付費補助金182万円は、同じく認可外保育所の認可に向けた事務経費の補助金である。

教育・保育給付費補助



小学校体育館

問 特定防衛施設整備調整交付金の充当事業は。
答 大鮎用排水路整備、万葉研修センター（公民館）駐車場整備、小学校体育館改修、中学校駐輪場改修及び駐車場の4事業である。

問 防衛交付金の使い道
答 特定防衛施設整備調整交付金の充当事業は。

問 小学校体育館改修の詳細は。
答 実施設計を含め、トイレ・ひさしの改修、音響・電気関係の整備を行う。床面については次年度にフロアリング施工を実施予定。

問 小学校体育館改修の詳細は。
答 実施設計を含め、トイレ・ひさしの改修、音響・電気関係の整備を行う。床面については次年度にフロアリング施工を実施予定。

小学校体育館改修

問 固定資産税が増額となる見込みであり、村税増収により基準財政収入額が増え、その分、地方交付税が減額となる。
答 固定資産税が増額となる見込みであり、村税増収により基準財政収入額が増え、その分、地方交付税が減額となる。

問 村税の増額と地方交付税の減額の詳細は。
答 固定資産税が増額となる見込みであり、村税増収により基準財政収入額が増え、その分、地方交付税が減額となる。

地方交付税の減額

問 無線機の配備はいづころ、どれほど支給されるのか。
答 トランシーバー23台を購入するもので、各分団に2台本部に1台を配備する。予算が成立し次第、手続きを取りたい。

問 無線機の配備はいづころ、どれほど支給されるのか。
答 トランシーバー23台を購入するもので、各分団に2台本部に1台を配備する。予算が成立し次第、手続きを取りたい。

非常備消防備品購入

問 現在200台が駐輪できる建物だが、自転車通学の生徒数減少に合わせて、130台収容可能な約230㎡の駐輪場とする計画である。
答 現在200台が駐輪できる建物だが、自転車通学の生徒数減少に合わせて、130台収容可能な約230㎡の駐輪場とする計画である。

問 新しい駐輪場の面積と駐輪台数はいくらか。
答 現在200台が駐輪できる建物だが、自転車通学の生徒数減少に合わせて、130台収容可能な約230㎡の駐輪場とする計画である。

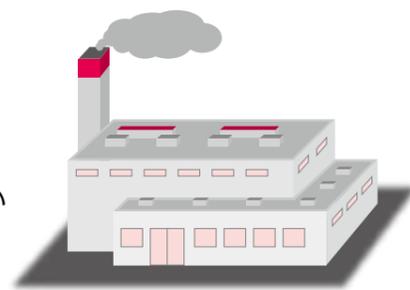
中学校駐輪場整備

主な条例の改正

◎大衡村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の改正

平成30年4月に稼働予定の新ごみ焼却施設の運転管理費増額に伴い手数料の改正を行うもの

- ・100kgまでの手数料の引き上げ（1,000円⇒1,500円）
- ・100kgを超える端数についての細分化（50kgまで500円⇒10kg単位で150円）



教育委員の選任

大衡村教育委員会教育委員（保護者代表枠）に齋藤さと子氏を選任することについて議会の同意を求められ、無記名投票による採決の結果、賛成11・反対1で同意しました。

なお、齋藤さと子氏は再任となります。

任期：平成29年10月1日～平成33年9月30日



齋藤さと子氏



一般質問

9名の議員が登壇

質問者一覧表

- 小川 宗寿**
 - 村民による村道等の奉仕作業を再検討すべきでは
 - 奨学金制度の見直しを
- 早坂 豊弘**
 - 有害動物の駆除と今後の対策は
 - 学校教育の今後の指針について問う
- 佐々木春樹**
 - 軽消防車導入による消防力強化を
- 石川 敏**
 - 介護保険事業の取り組みについて
- 小川ひろみ**
 - 小・中学校に学校司書の配置を
 - 役場庁舎のバリアフリー化の考えは
- 高橋 浩之**
 - 海老沢地区村道の拡幅改修を進めよ
 - 今後の村民体育大会の在り方について
- 山路 澄雄**
 - 大衡児童館における学童保育の改善を求める
- 文屋 裕男**
 - 大衡村における行政文書の取り扱いについて問う
 - 私のこれまでの一般質問・総括質疑の答弁に偽りはなかったか
- 細川 幸郎**
 - 国道4号拡幅後を見据え、市街化調整区域内の地区計画を拡大する考えはないか

議会を傍聴してみませんか

皆さんが選んだ議員がどのような質問・発言をしているのか、村の執行部がどのような施策を考えているのか、是非議場で傍聴してみませんか。

お問合せ先:大衡村議会事務局
☎345-6030
✉gikai@village.ohira.miyagi.jp

次の定例会は
12月6日(水)
からの予定です

※会議録は議会事務局・ホームページで閲覧できます。

◇9月定例会 採決状況表◇

○賛成 ×反対 議長(細川運一)は採決に加わらない。

議案	石川敏	佐藤貢	早坂豊弘	佐々木春樹	文屋裕男	小川宗寿	細川幸郎	高橋浩之	遠藤昌一	山路澄雄	佐々木金彌	小川ひろみ	細川運一	議決結果(賛成:反対)
同意第14号														同意(11:1)
議案第43~51号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(12:0)
議案第52号 一般会計	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	可決(9:3)
議案第53号 国民健康保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(12:0)
議案第54号 下水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(12:0)
議案第55号 介護保険	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(12:0)
議案第56号 戸別合併浄化槽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(12:0)
議案第57号 後期高齢者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(12:0)
議案第58号 宅地造成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(12:0)
議案第59号 水道事業	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(12:0)

※ 彩色している議案は起立ないし投票で採決を行ったもの

平成29年9月定例会提出議案 19件

(同意1件、条例2件、補正予算7件、報告1件、決算認定8件)

- 同意第14号 大衡村教育委員会教育委員の任命について
12ページに掲載
- 議案第43号 大衡村廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について
13ページに掲載
- 議案第44号 大衡村水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について
地名に「ときわ台南」を加える等の改正
- 議案第45号 平成29年度一般会計予算の補正について
- 議案第46号 平成29年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計予算の補正について
- 議案第47号 平成29年度大衡村下水道事業特別会計予算の補正について
- 議案第48号 平成29年度大衡村介護保険事業勘定特別会計予算の補正について
- 議案第49号 平成29年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計予算の補正について
- 議案第50号 平成29年度大衡村後期高齢者医療特別会計予算の補正について
- 議案第51号 平成29年度大衡村宅地造成事業特別会計予算の補正について
議案第45号~51号は12~13ページに掲載

- 報告第5号 健全化判断比率並びに資金不足比率の状況について
地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告、健全化判断比率・資金不足比率はともに良好
- 議案第52号 平成28年度大衡村一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第53号 平成28年度大衡村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第54号 平成28年度大衡村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第55号 平成28年度大衡村介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第56号 平成28年度大衡村戸別合併処理浄化槽特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第57号 平成28年度大衡村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第58号 平成28年度大衡村宅地造成事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第59号 平成28年度大衡村水道事業会計決算認定について
議案第52号~59号は6~10ページに掲載



早坂 豊弘 議員

有害動物の駆除と今後の対応は 現行対策の拡充を考えていく



議員
ワイヤーメッシュ柵やくくりわな、箱わなを増やすことだけでは、個体数の減少や被害の縮減に繋がらないのでは。

村長
農地を含む人間生活圏とイノシシなどの生息域を分離する必要がある。今年度において、ワイヤーメッシュ柵4・5kmの設置を大衡村農作物有害鳥獣駆除対策協議会が主体となり実施していく。

議員
イノシシやクマ等の出没件数が年々増加している。田畑の農作物、農地被害は拡大し、そのほかに人的被害の危険性も高まっている。今後の対応、そして危険防止策について問う。

議員
子ども達への熊鈴の所持徹底、通学路のパトロールを強化するとともに、教育委員会からの連絡網を通じて注意喚起をしていく。

ランドセルに付けた熊鈴

議員
最近、クマの出没も増え、小中学校の保護者から心配の声を聞く。対応と対策は。

村長
宮城県第二期イノシシ管理計画の中で5600頭の捕獲目標がある。そのため、わな等の増設、ワイヤーメッシュ柵のエリア拡大をして、有害鳥獣捕獲隊増員に向け、わな免許取得の助成を考えている。今後、それ以外についても考えていきたい。

学校教育の今後の指針について 支援員を活用していく

議員
子ども達の居場所づくりをどう考え進めるのか。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーをどう活用しているのか。

教育長
学校に馴染まない、学級に入ることが出来ない子ども達に、会議室など別室を準備し、担任と連携し、教員、スクールソーシャルワーカー、心の支援員が寄り添い学習支援を行っている。

議員
本村の文化・伝統の伝承、歴史を伝える必要があるのでは。

教育長
村に住む人として、大衡村を知ることは大切と思う。人材育成にも繋がっていくと思う。



スクールソーシャルワーカーの佐藤実先生



小川 宗寿 議員

村民による村道等の 奉仕作業を再検討すべき 新たな助成制度を検討する

議員
高齢者や非農家世帯の増加により、地区民による村道等の除草などの奉仕作業は困難になってきている。村道や河川的环境保全について、住民参加の方法を改めて検討する時期ではないか。

議員
奉仕作業が実施困難な地区には別な形で貢献してもらい、まだまだ作業が出来る地区には、人件費や消耗品など、その地区の実情に見合った新しい助成ができないか。

議員
区長を委員として構成する「道路愛護会」「河川愛護会」でもそのことが常に話題となっている。今年、ついに河川愛護作業が出来ない地区も出てきた。今後の管理について、管理者の県とどのようにしていくべきか相談している。



ボランティアによる戦車道路清掃（大瓜下地区）

村長
作業自体が困難な地区は見直さなければならぬ。先日、大瓜下地区の有志が実施した戦車道路土砂撤去作業に、機械代を助成したように、意欲ある地域住民の活動を支援できるように、何らかの助成制度の創設を検討していく。

議員
卒業後、村へ戻ってきた人に対し村奨学金返済の一部免除や、民間奨学金でも同程度を助成できないか。

教育長
免除者がすぐに転出する事も想定される。実施した場合の財政負担も必要となるので、ハードルは高い。

議員
例えば、高度に専門的な技能を求められる職業に就き、将来的に大衡の福祉向上へ貢献する人向けに、返済を一切免除する「給付型」の投資的奨学金制度の検討は出来ないか。

教育長
返済免除の奨学金制度の創設は魅力的だが、専門職とは何か、それらの職種技能とは何か、その判断も必要となることから結論を出すことは容易ではない。

奨学金制度の見直しを 財政上ハードルは高い



石川 敏 議員

介護保険の取り組みは 介護予防対策が重要に

村長 本年度から軽度の要支援1、2の方々に訪問型の「ヘルプサービス」と、通所型の「デイサービス」、「はつらつ塾」「元氣アップ教室」を実施している。

議員 要支援の方を対象にした介護予防や日常生活支援サービスが、今年から介護保険から切り離されて市町村の事業になったが、村ではどのような事業を実施しているのか。

村長 平成28年度末では65歳以上の1号被保険者は1521人であり、うち要支援認定者が72人、要介護認定者は247人で合計320人居宅サービス受給者は224名、施設入居者が55名である。

議員 本村の介護保険の1号被保険者数、要支援1、2、要介護1〜5認定者や介護サービスを受けている方は何人か。

村長 介護保険料は3年ごとに見直すことになっており、平成27年の改定では1号被保険者の負担割合増と被保険者数の増加により要介護認定者が増え、介護サービス給付額が増加したことによる。

議員 平成27年の介護保険改定では保険料の基準額が月額4300円から5800円と大幅に上がった。また、介護サービスの利用者負担も一割から所得に応じて二割に増えている。

議員 今後は利用者が増えれば、事業の在り方や来年四月から実施予定の「認知症初期集中支援事業」の実施体制を確保することが課題と考えている。

議員 平成30年度に保険料の改定を迎えるが、どのような考えで算定するのか。

議員 高齢者数の増加に伴い、今後も介護サービスを必要とする方が増えてくると思われる。どのような介護保険事業の仕組みや介護を担う体制づくり、介護需要にどう対応していくのか。



介護予防事業のいきいきサロン

村長 一人暮らしや夫婦二人世帯の高齢者が増えており、住民同士の近所つきあい支えあいの認識が大切であり、介護予防指導などの対策が重要になってくると考えている。



佐々木春樹 議員

軽消防車導入による消防力強化を 消防団と方策を検討していく

議員 今後懸念される、消防団員の軽トラック所有率の低下に対応すべく、軽消防車（小型動力ポンプ付軽消防車）の導入を早急かつ計画的に求める。

村長 近年他町では、火災に対する初動態勢を確立させるため、軽消防車の導入が進んでいる。また、今後団員が軽トラックを所有しない分団が出てくる懸念は、同様に感じている。これを補うためにも、OB団員との連携をさらに充実させる必要がある。軽消防車を導入した場合、火災対応の即応性や、ポンプ搬送の負担軽減は図られるが、車両の維持管理、活用計画の策定など、団員の負担も増える。村全体の事業等を勘案しながら進めたい。



改修が待たれる第六分団のポンプ小屋

議員 第六分団（奥田地区）のポンプ小屋は旧態依然のものとなっており、改修が急がれる。

議員 現在整備されていないのは、第六分団のみとなっており、整備の必要性は十分認識している。

議員 第六分団のポンプ小屋改修に合わせ、軽消防車を導入するのは、絶好の機会ではないか。また、他の分団についても今後計画的に更新が必要と考える。幹部会などを通して、村の方向性などを示していくべきと考えるが。

議員 軽消防車は一台600万円ほどの経費がかかる。軽消防車でなければならぬのか、全分団に配置できる可能性として、軽自動車改装し対応できないか検討する。

村長 また、軽自動車を導入するには、ポンプ小屋の改修も各分団で必要になる。今後の計画について、消防団の皆さんといろいろな方策を検討したい。



高橋 浩之 議員

海老沢地区村道の拡幅改修を進めよ 改修が必要と考えている

議員 村道海老沢線は幅員が狭く、消防車などの緊急車両の進入さえ制限される。また、村内でも数少ない市街化区域なのに、新たな開発行為も認可されなかった。



幅員の狭い海老沢地区の村道

さらに災害時の避難道路としても貧弱であり、地域住民の安全のため早急に拡幅改修工事を行うべきではないか。

議員 長い歴史を持つ村民体育大会だが、新学習指導要領が小中学校で実施されることに伴い、登校日として対処する事が難しくなっている。またプログラムについても、各地区の人口や年代層のバラつきは増大し、選手選考に苦勞している。運営内容を再検討すべきでは。

村民体育大会のあり方について 状況に応じて検討

村長 村民が楽しみにしている行事だが、学校の負担にについても考慮すべき時期に来た。プログラムについても関係者の意見や話し合いに基づき、状況に応じた検討をしていく。

議員 都市計画の中の市街化区域であり、県などの協議が必要との事だが、地区住民の協力を得て要望すれば、素早い対応をするのか。

村長 村道ではあるが、県との協議が必要になる。改修は当然進めていくべき路線と認識し、検討していく。



小川ひろみ 議員

小・中学校に学校司書の配置を 学校司書配置を目指す

議員 行政視察研修で訪問した三重県多気町では、学校司書を小中学校全7校に配置し、その予算は自治体の自主財源で賄っていた。学校図書役割の大切さ、学校司書の必要性を実感した。教育現場で不登校、いじめが発生している中で、環境づくりが必要である。学校図書館の学校司書についてどう考えるか。

教育長 教育委員会研修で訪問した先進地秋田県東成瀬村では、読書に力を入れており、年間で児童一人に対する図書購入費用は約6000円であった。対して本村は1500円である。学校図書館の学校司書は、学習活動を支援する機能と児童生徒の豊かな心を育む機能を有する非常に重要なもので、さらなる充実が必要と考えている。



子ども達による図書の貸し出し（小学校）

議員 本村においても、専門性を持った司書の配置など、学校図書館の充実を考えるべきでは。

教育長 学校司書の配置を含め、学校図書館、そして公共の図書館の充実を目指していく。

議員 役場庁舎はエレベーターが無く、障害を持った方や足腰の弱った高齢者にとって、非常に不便なものとなっている。本村のバリアフリーの今後の考えを問う。

役場庁舎のバリアフリー化を 総合的な整備を検討していく

村長 来庁される方に不便をかけていることも事実で、使いやすい施設ではなく、不十分な点があるものと認識している。

議員 今後の庁舎内の環境づくりをどう進めていくのか。

村長 エレベーターを設置するためには、あらゆる角度から検討し、設置の可否も慎重に研究していく。椅子式の自動昇降機の設定も考えていく。



文屋 裕男 議員

行政文書（公文書）の取扱いは 文書取扱規程で定義している

議員 私はこれまでの一般質問や総括質疑の中で、私が情報公開を請求した八項目の書類は公文書ではないかと質問してきた。

村長 私はこの件について訴訟を起こしている。弁護士からの情報によれば、八項目の書類の中身は、総務課長自らが作成したものが三通、前副村長が作成したものが一通、女性職員が作成したものが三通、前副村長に郵送された投書（県に確認したところ、こういったケースは村に到達したものとされる）が一通である。この八項目の書類については、総務課長はその存在を認めている。

議員 このような書類は、公文書として保管しておかなければならないと思うが。



文書の入ったキャビネット

村長 私はその文書が何を指すのかわからない。当時私は村長ではない。村で保管もしていない。

議員 存在を認めている書類を保管していないとするならば「証拠隠滅に繋がりませんか」と住民の皆さんは言っているが。

村長 ないものには答弁できない。

議員 平成27年6月議会で、女性職員に当時議長だった萩原村長が電話をしたが、話すことは出来なかった。しかし、別の議員は何度も連絡を取り合ったと私たちに話したことを質問したが、萩原村長は「いや、何度もではなく、一〜二回くらいだ」と答弁したのは、虚偽の答弁ではないか。

村長 その当時の女性職員と私は、一回もその後面談も一切していない。また、私はそのようなことを言った覚えはない。

議員 答えになっていない。細川議長は当時の議事録を見て認識している。認識していないのは萩原村長だけだ。

村長 当時の議長として私が連絡をしても、電話に出なかった。同僚議員に女性職員が心を許し、連絡をしたと話したが、私には分からない。

議員 その同僚議員とは誰か。私の家では名前を言ったが、議場では話せない。



山路 澄雄 議員

児童館における 学童保育の改善を求める 手狭と認識、検討する

議員 児童館の利用児童数は、一日平均100人を超えている。利用時間帯においては、玄関ホールや廊下周辺にランドセル等がうす高く積み、ホール内の通行の妨げとなっている。また、トイレの現状についても子ども達から不満の声が上がっており、改修等の対応が必要になっている。

村長 児童館の利用児童数は一日平均100人前後で推移している。平成7年4月に移転後、エアコン修繕、グラウンド整備等の環境改善に取り組んできた。

健康福祉課長 指摘されたランドセル置き場の状況は、子ども達が集中する午後2時半から4時頃までの時間帯に見られる。限られた施設面積の中で、利用している子ども達に不便をかけていると感じている。



児童館ランドセル置き場の状況

トイレの問題については、男子と女子のトイレが各1ヶ所しかないのもその指摘かと思うが、児童館からトイレ利用に支障があるとの報告はない。

議員 平成28年度の児童館利用児童の事故発生件数とその内容は。

健康福祉課長 通院せざるを得ない重症の事故は3件であり、一年生女子の手の骨折、同じく一年生女子が頭部出血、二年生女子の足首骨折の報告を受けている。

議員 若い世代の方々が、大衝村に居住するとすると、共働き世帯は学童保育に頼らざるを得ない。児童館の果たす役割はますます重要になり、今後の児童館は一層の施設整備が求められる。そこで旧幼稚園跡地に児童館を移設、図書館を併設し、登録児童、その他の小学生も立ち寄って読書が出来る新しい施設を考えてはどうか。

村長 旧幼稚園舎の利活用については研究調査中であり、図書館の整備も想定の中にある。児童館が現在手狭だということも認識しており、今後検討していく。

委員会
報告

塩浪地区住宅団地整備調査 特別委員会中間報告



ときわ台南造成地現地調査

委員会開催状況一覧	
開催日	審議内容
H29.2.6	正副委員長の選出
H29.2.27	請負工事等の進捗状況現地調査
	今後の事業スケジュールについて 字(あび)の区域をあらたに画すること 宅地販売について
H29.8.8	請負工事等の進捗状況現地調査
	今後の事業スケジュールについて 宅地販売について

◎調査の結果

1.各種請負工事について

道路、下水道等の各種工事が遅れており、8件を平成29年度に繰越して工期を延長している。あらかじめ工事の発注時に適切な工期を設定するよう指摘。

2.宅地販売業務について

販売業務は宮城県住宅供給公社に委託することに決定。

・平成29年度委託金額：18,830,880円 ・宅地販売予定価格：平均24,000円/m²

委員会
報告

平成29年
9月25日

玉城寺原演習場対策 特別委員会中間報告



新田沢ため池(玉城寺原演習場内)

◎玉城寺原演習場周辺
障害防止対策の現地調査

現地調査箇所
・一文字堰堤
・一文字砂防ダム
・焼切・沓掛用排水路
・新田沢ため池
・新田沢砂防ダム、砂溜工

◎調査の結果

- 一文字砂防ダムから一文字堰堤への導水管が、東日本大震災で損傷したため封鎖されている。そのため、砂防ダムからの排水が堰堤へ通水されていない状況である。
- 新田沢砂溜工及び新田沢ため池に演習場内から土砂が流入し、常時濁り水の状態になっている。演習場内に保水能力がないため、雨水が土砂とともに流入することが原因と思われる。ため池樋管等の維持管理に支障があり、早期に改善が必要。

国道4号拡幅後を見据え 地区計画の拡大を

厳しい状況だが 重要な課題と捉えている



細川 幸郎 議員

議員
今後の国道4号4車線化の見直しは。また、村道の接続や側道はどうなるのか。

村長
仙台河川国道事務所(国交省)に確認したところ、道路設計が最終段階を迎えており、準備が整い次第、今年中に説明会を開催する予定とのことである。村道との接続や側道計画、今後の事業の進め方は、この説明会で示される。

議員
黒川消防署大衡出張所入口交差点以北の国道沿いの農振農用地については。

村長
河原交差点から北の国道4号の西側は農振農用地だが、それ以外はほとんどが農振地域外の農地となっている。

議員
村内の小規模宅地開発による住宅新築状況をどう把握しているか。

議員

地区計画の五反田・亀岡地区や平林地区などで29区画が分譲され、早々に完売しており、地区計画内で148件の開発が届出されている。

村長

現在、大衡村では塩浪地区宅地造成での分譲が喫緊の課題である。それが完了し、国道4号4車線化が具現化した後、国道沿線の地区計画を策定してはどうか。国道沿線には下水道が通っていない、農振農用地も少ない。大衡村らしいコンパクトで効率的な宅地開発を考えた方が現実的ではないか。

議員

地区計画は、住民の合意に基づき、地区の特性に合わせて市町村が定める都市計画だが、県の同意が条件となる。区域の拡大は極めて厳しい状況ではあるが、国道4号沿線の良好な市街地環境の形成を図るためには、地区計画の策定は重要な検討課題と捉えている。拡幅事業の進捗状況を見ながら検討したい。

村長

4車線化が待たれる国道4号



4車線化が待たれる国道4号

地区計画は、住民の合意に基づき、地区の特性に合わせて市町村が定める都市計画だが、県の同意が条件となる。区域の拡大は極めて厳しい状況ではあるが、国道4号沿線の良好な市街地環境の形成を図るためには、地区計画の策定は重要な検討課題と捉えている。拡幅事業の進捗状況を見ながら検討したい。

調査年月日：平成29年8月9日

調査年月日：平成29年7月19日

県道大衡仙台線橋梁 (大和町宮床工区)

- 県道大衡仙台線の(仮称)宮床跨道と(仮称)宮床川橋の2ヶ所で現地調査を実施。宮城県仙台土木事務所より説明を受けた。来年度完了を目指して事業を継続している。



◎(仮称)宮床跨道現地調査

獣害防止柵 (ワイヤーメッシュ柵) (大和町吉田麓上・麓下・清水地区)



◎侵入防止柵設置状況現地調査

◎村のイノシシ・クマ出没状況

- 平成29年度はイノシシ24件・クマ13件が住民・鳥獣被害対策実施隊などから通報されている (H29.8.7現在)

平成28年度 イノシシ出没件数			
行政区	捕獲	事故死	掘り返し
大瓜上	10頭	0頭	1件
大瓜下	8頭	0頭	3件
駒場	0頭	1頭	0件

その他の 所管事務調査

- ◎ いじめ・不登校の状況 (H29.6.30現在)
 - いじめ認知件数：小学校0件・中学校4件
 - 不登校(欠席30日以上)：小学校0名・中学校2名
 - 不登校傾向(欠席30日未満、別室登校等)：小学校1名・中学校8名
 - 別室登校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の支援、教育委員会による情報収集、指導助言などで対応
- ◎ 学力向上研究指定校事業
 - 小学校では学力向上研究指定校(県教委より指定)事業を実施している

◎調査を終えての所感・意見

獣害防止柵の現地調査中、地元の区長から柵についての所感を聞くことができた。「柵を作っても必ず抜け道ができる。完全なものではない。」というのが、率直な感想だという。

村でも獣害防止柵の整備へ向けて準備をしているが、柵だけで果たして農地・農作物は大丈夫なのかという懸念は消えない。

教育委員会から、いじめ・不登校が多少増加傾向にあるとの報告を受けた。子どもの健やかな成長が第一である。出来るだけ早急に対策を講じてもらいたい。

社会福祉法人「みんなの輪」の施設視察 (パン工房わ・は・わ / わ・は・わ味明 / わ・は・わ大郷)

◎パン工房わ・は・わ現地調査



- 就労継続支援(B型)事業所 利用者数:24名
わ・は・わ味明に隣接する米粉パンの製造を行う事業所、工賃は月額平均11,946円(H27年度)

主な活動内容

- ①米粉パンの製造・販売・出荷
米粉は隣接するわ・は・わ味明で製粉したものを使用している
パン製造を通して、仕事への意識や作業能力向上を目指す
- ②レクリエーション(毎週金曜日)

◎わ・は・わ味明現地調査



- 就労継続支援(B型)事業所 利用者数:20名
大郷町より旧味明幼稚園舎の無償貸与を受け運営を行っている

主な活動内容

- ①米粉の製粉事業 製粉する米は地元大郷の契約農家のもの
- ②焼き菓子事業(米粉ドーナツ・クッキー)
- ③農園作業
- ④リサイクル(銅線皮むき、CD仕訳作業)
- ⑤クリーニング(白衣洗濯、アイロンがけ)

◎わ・は・わ大郷現地調査



- 生活介護事業所 利用者数:23名
大郷町より旧粕川幼稚園舎の無償貸与を受け運営を行っている

主な活動内容

- ①さをり織り製品の制作
色や風合いの違うさをり糸を組み合わせ布を織りあげ、ポーチ・ティッシュケース・小銭入れなどの小物を作っている
- ②木工作業・手芸品の作成
- ③ブルーベリー栽培(摘み取り・販売)

◎調査を終えての所感・意見

今回視察した「パン工房わ・は・わ」では、大郷町の減農薬減化学肥料のお米を使用し、顔の見える一貫生産という付加価値をつけてパンを販売していた。それでも、利用者の工賃の安さという課題を解決しているとは言えないようだ。他の2施設では利用者の高齢化も進んでいる。

平成30年3月、本村に開所予定の「わ・は・わ大衡」については、利府と古川の支援学校にPR活動をしている。村と障害者の福祉向上に繋がるよう見守っていきたい。

大衡村での暮らし



駒場地区
富永 亜弓さん

私は今年の3月から大衡村で新生活を始めました。大衡は医療費助成、出産支援等子育てに関する支援や助成がたくさんあり、本当に子育てしやすい環境だと思えます。

また大自然に恵まれ、子供たちも朝から虫を捕まえたり、のびのびと生活しています。ただ最近、クマやイノシ

シの出没の情報が相次いで発生しており、子どもを外で遊ばせるのは少し心配です。それに対する対策を強化していただき、これからも安心して暮らせる大衡村であってほしいと思います。

現在私は、毎日仙台まで高速バスを利用して通勤しております。学生の方の利用も多

いようで、本当に便利ですが、通勤・通学時間帯の運行本数や時間帯の拡大をしていただけると、利便性がさらに向上するかと思えます。

最後に、これからも暮らしやすい村、子育てしやすい村として日本一を目指して、明るく魅力ある大衡村であってほしいと思います。



会員募集中

代表 中村 美代子さん

インディアカとは知らない人が多いようですが、バドミントンコートでバドミントンの羽にクッションが付いた感じのインディアカボールを打ち合うスポーツです。

若い人からお年寄りまで、いつでも、どこでも、誰もが出来る生涯スポーツです。健康維持と大会優勝を目指して日々頑張っています。

毎週火曜日と土曜日、午後7時から村民体育館で練習しています。興味のある人は、是非覗いてみませんか。一緒に汗を流しませんか。お待ちしております。

ちなみに、シニア女子の部(45才以上)で、今月山形県で行われた東北ブロック大会で3位、北海道で行われた全国レクリエーション大会兼全国インディアカ大会で優勝しました。

輝く村びと

—大衡インテイクカ ききょう—



あがき

コスモスが日ざしに映

える通学路を笑顔で語ら
いながら過ぎる小学生た
ち。この子等のため、い
つまでも平和な時代が続
いてほしいと願う秋です。

山路 澄雄



大衡村議会

広報広聴常任委員会

委員長 小川 宗寿

広報分科会

分科会長 小川ひろみ

副分科会長 佐藤 貢

委員 石川 敏

委員 早坂 豊弘

委員 細川 幸郎

委員 山路 澄雄

発行責任者

議長 細川 運一